

事業所名

ライフエナジーチェェコロ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和8年

2月

28日

法人（事業所）理念		私たちは子どもたちにできるだけできるだけ多くの成功体験を積み重ね、自尊心や得意分野が育つようにスモールステップで行って行くことはもちろん、一方で将来子どもたちが社会で生きていく根本的目的を見失わないように、温かく優しい雰囲気の中で一人ひとりの困難や問題を具体的に把握し、療育に反映していきます。						
支援方針		心・体・社会などの広い視点で、お子様の「より良い在り方」を考えていきます。楽しみながら参加できるように、個々に合わせた個別支援を設定します。【楽しい】と感じながら学べる工夫をしています。5領域に沿った個別支援計画を作成した上で、専門職員による支援計画を作成します。5領域の相互に関連して重なり合った支援の幅をより良いものとして提供していきます。						
営業時間		14時	0分から	17時	30分まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	年齢が上がるにつれ、身体にも変化が起き、心に起きる葛藤が難しくなります。頭ではどうすべきか分かっていても、プライドや不安など、複雑な気持ちに混乱して行動に移せない・・・「気持ちに階段をつける」言葉で表示が難しい時には「絵にして描いてみる」「今の気持ちを文字にする」など感情を客観視してコントロールする練習をします。						
	運動・感覚	「緊張」「弛緩」など身体のコントロールをする練習をします。また、体の感覚や様々な感触に触れ、感覚の成長を支援します。体の動きをコントロールできると、気持ちやテンションのコントロールにも役に立ちます。						
	認知・行動	「着席」「大人をよく見る」「話を聞く」「嫌なことも頑張ってみる」等、課題に向かう、学習の姿勢を支援します。「頑張ってたかった」と感じるような関わり方や内容を工夫します。また、振り返りシートの活用により、情報を適切に処理をして知識やコミュニケーションの難しさから生じる行動障がいの予防方法を考えます。						
	言語 コミュニケーション	「要求する」「伝達する」「聴く」「模倣する」「観察する」など、自分も周囲の人も大切にコミュニケーションを学びます。言葉だけでなく、ジェスチャーやカードなど、お子様に合った方法を考え支援します。暴力や暴言など、社会的に不適切とされる行動も、本人にとっての何らかの問題に「対処している行動」と捉えることが出来ます。どんな問題に対処しているのか、丁寧に観察しつつ、社会的にも適切な行動を考え工夫し、支援します。						
	人間関係 社会性	ソーシャルスキルの習得を目指します。ソーシャルスキルを使用すると、「やって良かった」「楽しい」と感じるなど、良い体験となるように設定を考えます。集団での活動や、友達との関わりを通して実践的に学び身に付けます。「挨拶」「感謝」「謝罪」など社会生活で活躍するスキルを身に付けます。「友人」「上下」「利益」「仲間」「協力」「対立」など、集団で発生する様々な人間関係において、相手も自分も大切に行動を選択できるように、一緒に考えます。						
家族支援		子育ての悩みについて相談にのります。居宅訪問/事業所内相談（月4回まで）保護者へ支援場面の観察、参加の機会を提供した上で、特性を踏まえた子どもへの関わり方等に関して相談援助等を行う。（月4回まで）			移行支援		退所前、移行先施設との間で、子どもや家族の状況や課題の共有を行う取組（6カ月以内）、退所後、居宅訪問や移行先施設訪問をして、助言・援助を行う。（30日以内/1回）	
地域支援・地域連携		関係機関で役割分担を行うと共に、それぞれの機関で得られた情報を共有し、日常的な生活や支援に活用するための具体策を提案する。関係機関連携会議（月1回）			職員の質の向上		虐待防止委員会・研修 身体拘束適正化委員会・研修 感染症対策委員会・研修 安全計画研修・訓練 BCP研修・訓練（事業所内委員会・研修年間計画有）その他基幹支援センター部会・研修 セミナー参加等	
主な行事等		1月お正月伝承遊び 2月節分 3月修了式・ひな祭り制作 4月自己紹介・イースター制作 5月こどもの日制作 6月七夕飾り 7月夏祭り 8月夏休みお出かけイベント 9月十五夜制作 10月ハロウィン 11月干支制作 12月クリスマス会 毎月お誕生日会、安全教室 長期休暇（春・夏・冬休み）お出かけ企画や特別活動有						